

バイトル、それぞれの地域で働く魅力に迫る新連載『ジモバイ！ HAPPY LIFE』開始 ～ 第1回目は埼玉県狭山市・入間市。上京しない理由は満員電車！？～

報道関係者各位

総合求人情報サイトを運営するディップ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:富田英揮、以下 ディップ)は、アルバイトの求人情報サイト「バイトル」のWEB マガジン「[バイトル公式マガジスタンド/BOMS](#)」において、2015年1月28日より新たな特集ページ『ジモバイ！ HAPPY LIFE』を開始致します。

『ジモバイ！ HAPPY LIFE』とは？

「地元が大好きで、地元から出たくない」という若者をインタビューする連載です。ジモバイ(地元のアルバイト)の素晴らしさを伝えるべく、毎回一つの地域を特集し、そこで働く人々の生活を紹介してまいります。

今回は、埼玉県入間市で暮らす加納裕介さん(30歳)、大橋優衣さん(21歳)にインタビューをおこないました。



画像:インタビューにご回答頂いた大橋さん(左)、加納さん(右)

-埼玉県狭山市・入間市で暮らすお二人にインタビュー-

限られた生活圏で満足のいく生活が送れる

生まれ育った地元を愛し、地元で暮らしているアルバイト加納さん、大橋さんにライフスタイルについて伺ったところ、限られた生活圏で満足のいく生活が送れているとのことでした。賃貸アパートで一人暮らしをしている加納さんは、「通勤時間は車でわずか10分程度。洋服や日用品が買えるアウトレットモールや大型ショッピングセンターへは車で数分です。」と答え、職場・買い物など日常生活の行動、そして実家への帰宅も半径5km以内で完結していることがわかりました。

東京はたまに行くぐらいがちょうどいい

東京で働きたい(住みたい)と思ったことはないかと伺ったところ、「東京は自分に合わない」との回答がありました。かつて東京都新宿区でアルバイトの経験がある加納さんは「満員電車がどうしてもダメ。人が多すぎて疲れるし、通勤で時間を食うのも苦痛」と答え、東京に関しては「あくまで遊びに行く場所。たまに行くから感動も大きい。『やっぱ東京はすげえな』ってたまに思うぐらいが僕にはちょうどいいですね。」とのことでした。

狭山市・入間市を離れない理由は「程よさ」

地元にはどんな魅力があるかという質問に対し、加納さんより「都心にも近い一方で、少し行けば秩父の山もある。通勤、買い物、遊びもほぼ全て街の中で完結でき、車で移動できる事。」との回答がありました。

当プレスリリースを引用・転載される際は 出典(バイトル公式マガジスタンド(BOMS)『ジモバイ！ HAPPY LIFE(埼玉県狭山市・入間市編)』: http://www.baitoru.com/contents/bm_jimoto/1.html) の表記をいただければご自由に行っていただけます。

【「バイトル」とは】

「バイトル」は、日本最大級の求人情報数を掲載するアルバイト求人情報サイトです。インターネットならではの使いやすさを追求し、業界に先駆けた機能を多数提供しています。

【バイトル公式マガジスタンド(BOMS)とは？】

ユーザーが見て得する、満足する、読みたくなる、アルバイトに関するお役立ち情報が充実している WEB マガジンです。読者(求職者)が知りたい情報を、バイトル編集部がテーマ別に企画・取材・編集しています。「職種」「エリア」「お金」「おもしろ」など、様々な切り口から知っておくとアルバイト活動に役立つコンテンツを掲載しています。

【ディップ株式会社 概要】

ディップ株式会社は、アルバイト情報サイト「バイトル」、人材派遣情報サイト「はたらこねっと」、看護師人材紹介サービス「ナースではたらこ」を通じ、求職者と求人企業双方にとって利便性の高いサービスを提供することで社会を改善する存在となる事を目指しています。2004年5月東証マザーズ上場、2013年12月東証一部へ上場。2014年2月期売上高は130億円。

<この報道資料のお問い合わせ先>

ディップ株式会社 広報担当

TEL: 03-6862-4633 / e-mail: info@dip-net.co.jp